

鉄道の橋梁など検査・診断

県コンクリート専門知識で社会貢献 ―ト診断士会―

全国初 支援協定結ぶ

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）は27日、福井鉄道と、えちぜん鉄道との間で、鉄道施設の検査・診断等の支援に関する協定を交わ

した。同診断士会は、全国25地域の士会に先駆け04年に発足しており、今

回は地域鉄道との支援協定も、全国初の社会貢献として注目される。

協定式は、福井県交通まちづくり課（西野光課長の立ち会いの下、行わ

れた。福井市手寄のアオッサで。福井鉄道の村田治夫代表取締役社長と、えちぜん鉄道の豊北景一代表取締役社長が、大雪や輸送障害も想定した振替輸送と代行輸送へ、相互連携する協定書にサイン。あわせて、コンクリート診断士の山川博樹会長も加わり、鉄道施設の検査・診断等の支援協定書にもサインした。

式上、協定者が挨拶。両鉄道の相互協力の重要性とともに、診断士会の役割も強調。村田社長は「長寿命化にむけた検査でぜひ助言を」。豊北社長も「コンクリート橋梁が勝山永平寺線で25カ所、三国芦原線で33カ所存在。いずれも築30年超で老朽化が顕著」と期待。



協定にサイン後、記念撮影する（左から）豊北えちぜん鉄道社長、村田福井鉄道社長、山川コンクリート診断士会長

鉄道施設の検査・診断等の支援に関する協定

■目的

福井鉄道、および、えちぜん鉄道が実施する検査等に関し、福井県コンクリート診断士会が支援を行い、確実な検査等の履行と、職員の技術向上を図る

■支援内容

- ・鉄道施設の検査の指導と助言
- ・鉄道施設の検査の健全度判定の指導と助言
- ・措置が必要とされる鉄道施設に対する対策方針（修繕方法、詳細調査の必要性など）に関する指導と助言
- ・福井鉄道、および、えちぜん鉄道が開催する研修会等への協力

■福井県コンクリート診断士会とは 県内でコンクリート診断士の資格を保有して建設、設計、調査、材料メーカー、自治体などに勤務する個人で構成 04年3月設立し、現会員数＝正会員152人、学会会員7人、賛助会員3人、法人会員38社 主な活動内容＝福井県道路メンテナンス会議と協定締結（17年3月）、国土交通省のグッドプラクティス（インフラを支える優れた実践事例）に北陸3県で唯一認定（16年3月）、自治体所轄の各種委員会へ会員を派遣

山川会長は「コンクリート構造物診断のスペシャリスト集団で、技術力を発揮し、社会全体の安全性の向上に貢献したい」と力強く抱負を示した。